

## ■四国地方整備局渇水対策本部の設置について

【河川部】

早明浦ダム上流域における降雨量は、7月が129.3mm（平年比30.1%）、長安口ダム上流域における降雨量は、7月が97.0mm（平年比20.7%）、大渡ダム上流域における降雨量は、7月が117.5mm（平年比34.9%）と非常に少ない降雨量となっています。

このような事態に対処するため、国土交通省四国地方整備局は8月2日18時00分に「四国地方整備局渇水対策本部」（本部長：四国地方整備局長 三浦真紀）を設置しました。

四国地方整備局渇水対策本部設置期間中の四国地方の節水情報については <http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/damu/index.htm> で情報提供を行います。

四国地方整備局渇水対策本部といたしましても、今後一層の節水を呼びかけるとともに、住民の皆様へのご協力をお願いいたします。

## ■「平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」について（報告）

【企画部 企画課】

7月23日、24日の2日間、「平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を高松サンポート合同庁舎で開催しました。

発表会は、四国地方整備局、徳島県、高知県、（独）水資源機構、西日本高速道路（株）の参加のもと一般公開で行われ、イノベーション部門、アカウントビリティ部門、一般部門（安全・安心に暮らせる四国づくり、交流・連携による活力ある四国づくり、人と自然にやさしい四国づくり、業務改善等への取組）の3部門50題で行いました。

開会にあたり、川崎局長から「しゃべること書くことの大切さ、当発表会はそれらを訓練する良い機会である。」との挨拶がありました。

その後、アイホールと13階会議室の2会場で、2日間で約500名の聴講のもと発表を行いました。

2日目の午後は、同時開催の四国建設広報協議会 技術PR発表会の後、論文審査委員長である石井企画部長からの講評、川崎局長から優秀論文賞受賞者への表彰状授与、山本次長兼総務部長からの閉会挨拶で2日間の研究発表会を締めくくりました。

## ■中国地方（山口・島根）豪雨における四国地方整備局TEC-FORCEの活動について

【企画部】

中国地方の山口県、島根県では7月28日（日）これまでに経験のないような集中豪雨に見舞われ、萩市、津和野町など、広範囲に甚大な被害が発生しました。

四国地方整備局では、7月29日、ただちに被災箇所の迅速な災害復旧を支援するため、支援対策本部を設置し、8月7日までの間、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として職員29名を派遣しました。

TEC-FORCEの主な活動として、中国地方整備局災害対策本部が山口県庁に設置した司令班にTEC-FORCE総合司令部班を派遣し、現地TEC-FORCEとの活動計画に関する調整、現地の作業状況の全体把握や中国・九州から派遣されたTEC-FORCEとの調整を行い、四国地方整備局支援対策本部との情報共有と現地活動の円滑化を図りました。

現地の被害状況調査は、河川班2班、砂防班1班、道路班2班体制で、萩市むつみ地区、須佐地区、田万川地区において行いました。

また、各班が円滑に活動するための後方支援を行うロジ班を1班、災害状況と隊員の活動状況を記録する広報班を1班派遣することで、被害状況調査を行う各班は調査活動に専念することができました。

調査報告書は、8月6日に山口県知事、8月7日に萩市長に引渡しを行い、全てのミッションを終えました。

今回の中国地方への支援は、厳しい環境の中での隊員の活躍をはじめ、整備局が総力を挙げてバックアップできたからだと認識をあらたにしたところです。

#### ■人事異動（平成25年8月1日付）について

【総務部】

新局長 三浦 真紀（道路局国道・防災課長）

新建政部長 丸尾 浩（道路局道路交通管理課道路管理企画官）

前局長 川崎 正彦（辞職）

前建政部長 常法 直昭（辞職）